パイロット事業の概要

資料2

【事業概要】
　トラック運転者の長時間労働等の問題点・課題を改善するために、発荷主・着荷主及び運送事業者を構成員とする集団を対象として実施する実証実験。
　集団を構成する事業者が年に3回程度参集し、行政より派遣されるアドバイザー等とともに課題の抽出、改善点の検討等を行い、更にそれらを実践するもの。

【7月頃】 第1回検討会 （参加者：アドバイザー（日通総研）、発荷主、運送業者、着荷主、行政、2回目以降も同様 ）

現場実態の一次把握 【実態把握のためのチェックリストの配布、合意形成】

事業場訪問

現場の実態把握【聴き取り、運転日報の確認等】

アドバイザーが実施

長時間労働の要因の整理、改善メニューの検討

【10～11月頃】 第2回検討会

現場実態と問題点の確認、改善メニューの提示、意見交換

アドバイザーが実施

現場での改善メニュー実施に係る検討、改善メニューの実践

事業場訪問

現場の実態把握【聴き取り、運転日報の確認等】

【2～3月頃】 第3回検討会

改善結果の取りまとめ

大阪におけるパイロット事業の概要

大阪におけるパイロット事業対象集団

発荷主

(株)日本アクセス大阪支店
大阪物流センター

運送契約

運送会社（元請）

(株)ハップ大阪支店

運送会社（下請）

（有）千流

選定の理由

- 大阪は人口の多い大消費地であるが、食料品のような特に消費頻度の高い商品の配送において課題が見られると考えられるため。
- 食料品は消費者から見てわかりやすいと考えられるため。
- 本対象集団で行っている配送センターを有しない中小スーパーに対するミルクラン配送に関し、必ずしも効率的な配送が行えていないなど改善の余地があると考えられるため。